

研究実施のお知らせ

2022 年 05 月 14 日 ver.1.0

研究課題名

PS 不良 EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブとオシメルチニブを比較する単施設後ろ向き研究

研究の対象となる方

2009 年 4 月から 2022 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科で、初回治療としてゲフィチニブまたはオシメルチニブが開始された Performance Status (PS) 不良の上皮成長因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の方

研究の目的・意義

EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対しては EGFR-チロシンキナーゼインヒビター (TKI) が有効です。PS (全身状態) の悪い患者さんにもその効果が期待されます。オシメルチニブは第 3 世代の TKI と呼ばれ、比較的新しく開発された薬です。PS 良好な EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対して、ゲフィチニブなどの従来の TKI に比べ、高い効果と少ない副作用が報告されています。オシメルチニブは PS の悪い患者さんにも有用である可能性があります。現時点でゲフィチニブよりその有益性が勝るのかどうかはわかりません。

そこで今回、PS 不良の EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブとオシメルチニブの効果や副作用を比較検討するため、本研究を計画しました。

研究の方法

対象となる患者さんのカルテを参照し、ゲフィチニブを投与された方とオシメルチニブを投与された方を分け、その背景・治療効果・副作用などの情報を収集しデータ解析をします。

本研究では、患者さんの個人を特定し得る情報 (名前・カルテ ID・住所・電話番号など) を取り扱うことはなく、外部に持ち出すことはありません。研究結果は学会や学術論文等で発表しますが、これら個人情報が含まれることはありません。収集したデータは外部に漏れることがないよう、研究者が責任を持って管理します。

研究の期間

2022 年 7 月 (研究許可後) ~2022 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会などで公表します。あなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座呼吸器臨床腫瘍学（附属病院 呼吸器・化学療法内科）が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学 中島和寿

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座呼吸器臨床腫瘍学／附属病院呼吸器・化学療法内科
中島和寿

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581